

全国



第 2173 号

ぜんこくしぎかいじゅんぽう

市議会旬報

令和3年 11月5日
(2021年)毎月3回5の日に発行
発行 全国市議会議長会〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03 (3262) 5234
旬報 TEL 03 (3262) 2309
発行人 橋本 嘉一
https://www.si-gichokai.jp

議長会HP

総務大臣から贈呈

地方自治功労を称え

市議25人に感謝状

地方自治に功労の になった。

あつた全国の地方議会 感謝状は、通算35年
議員に総務大臣から感謝 以上にわたり在職し、
謝状が贈呈された。 地方自治の発展に顕著
うち、市議会議員は25

今年度、金子恭之総務相から感謝状が贈ら

れた。

人(左上掲)だった。
また、市町村長・地方
議会議長への表彰状・
記念品も同総務相名で
各受彰者へ郵送で贈ら

の受彰者は24人で、

市町村議会議長と
して同12年以上在職
し、地方自治の発展
に功労があつたと認
められた方。今年度
本会の受彰者はいな
かった。

新型コロナウイルス感 だと認められる
染症の拡大防止のため、都道府県・市区・
例年都内で開かれてい 町村議会議員に
る贈呈式は取り止めと 贈呈される。

□ 感謝状贈呈者

〔名簿順、敬称略 ※は元職〕

▽今竹 大祐 (高砂)	▽藤本 幸作 (三木)	▽立入 三千男 (野洲)	▽柴田 安彦 (蒲郡)	▽※篠原 熙 (小金井)	▽片粕 正二郎 (越前)	▽山本 泰夫 (羽咋)	▽砂田 喜昭 (小矢部)	▽渡部 寛一 (南相馬)	▽高橋 作藏 (つがる)	▽中田 博文 (黒石)	▽小泉 征男 (北斗)
▽又吉 謙一 (浦添)	▽脇田 高德 (鹿児島)	▽河野 數則 (別府)	▽中島 正之 (小城)	▽樋口安美次 (八女)	▽千光士伊勢男 (安芸)	▽尾原 進一 (安芸)	▽田坂 信一 (松山)	▽中本 和行 (光)	▽西村 芳和 (山口)	▽清水 勝 (天田)	▽長廻 利行 (出雲)

本正副会長

提出議案を協議

熊本市



開催市あいさつをする原口副会長 (熊本市)

本会は10月18日、各会計決算などについて協議した。
熊本市の熊本ホテル
キャッスルで正副会
長会議を開催。第
225回理事会・第
111回評議員会合
同会議の会長提出議
案や令和2年度本会
また、正副会長は翌

19日から20日にか
け、令和2年7月豪
雨、平成28年熊本地
震の被災地である人
吉市・八代市・熊本市
を視察する旨、報告
した。(記事2・3
面、参加者は左掲)。

【被災地視察参加者】

▽清水富雄会長 (横浜
市) ▽篠原藤雄副会長
(岩見沢市) ▽廣瀬集
一副会长 (甲府市) ▽
鈴木和彦副会长 (静岡
市) ▽小川眞和副会长
(福山市) ▽原口亮志
副会长 (熊本市)
19日参加 ▽川越桂路九
州部会長 (鹿児島市)

頻発・激甚化する地震・集中豪雨

本会正副会長 熊本県被災地視察 (上)

平成28年4月に発生した熊本地震は地域に未曾有の大被害を与え、昨年の令和2年7月豪雨は、熊本県球磨川水域に甚大な被害をもたらした。本会正副会長は、10月19日に同豪雨災害で被災した人吉市、八代市を、20日に同地震で被災した熊本市を視察した。本紙では今号と次号の2回にわたり、その概要をお伝えする。

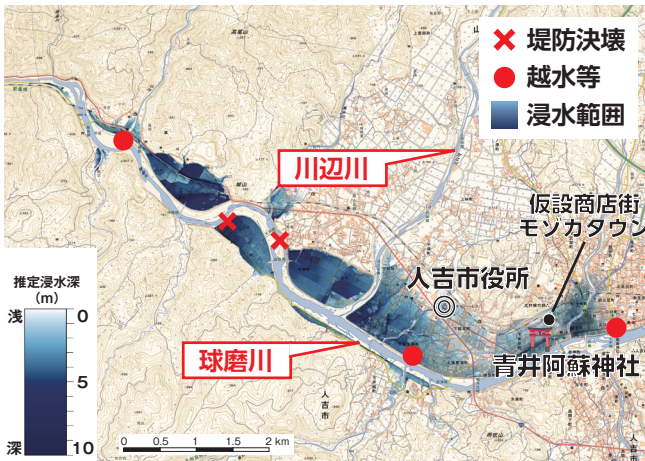
市域の3分の1が水没 人吉市

線状降水帯による被災

昨年7月、九州北部から吉市では、3日明け方から南部にかけて発生した線状降水帯が停滞し、人吉市では、3日明け方から雨が降り始め、深夜に急激に降雨量が増加。4日午前4時50分、市内全域に大雨特別警報が発令され、5時15分、全市民に避難指示が発令された。3日23時から4日10時までの11時間の降雨量は、



発災直後の人吉市内の様子（国土交通省九州地方整備局提供）



令和2年7月3日からの大雨による浸水推定図
(国土交通省 国土地理院資料を本紙にて編集)

被災者に寄り添う対応を 議会対応 執行当局への質問は禁止



西信八郎議長
(人吉市)

19日に訪れた人吉市では、西信八郎同市議会議長から令和2年7月豪雨災害による被災状況と市議会の取り組みについて説明を聞いた。

説明に先立ち、あいさつに立った清水会長は、「皆様方との意見交換を通じて、被災地の復旧状況や課題等を把握し、今後の本会の要望運動に反映していく」と述べた。

人吉市議会では、熊本地震の体験を踏まえ、平成

例年7月1か月分に匹敵する400mmを超え、市内を流れる球磨川の2カ所で堤防が決壊、3カ所が越水し、まちが濁流に飲み込まれた。球磨川の水位は観測史上最高となる7・25mにまで達し、市の中心部などが広範囲にわたり浸水。市

全体の約3分の1の家屋が浸水被害を受け、全壊902棟、半壊1450棟、一部損壊304棟を数え、21人の尊い命が失われた。

成28年12月、災害時の基本方針となる「議会災害対応方針」のほか、「議会災害対応連絡会議設置要綱」を策定。大規模災害時に即応できる体制を整えていた。

議員の行動としては、7月17～21日に全議員で市に集まった支援物資の配達支援をしたり、市民の困りごとを聴取し、執行部に伝えたりした。

災害後は、要綱に基づいて災害対応連絡会議を設置し、人吉市災害対策本部会議で報告された内容を報告、被災の状況、今後の議員の行動を確認した。具体的には、職員の負担を軽減し、職員が被災

最後の西議長は、「今回の災害は、人吉にとつてこれまで類を見ない甚大な災害だったが、議員一人一人の思いが、議会として取り組んだ様々な行動を通して、市民に伝わっている」と結んだ。



清水本会会長
(横浜市)

者に寄り添ってもらうとの観点から、各議員が直接、執行当局に質問や要望することを禁止し、議員からの要望等は、議長、事務局が受けて対応するとした。また各会派での要望を取りまとめ、市への要望を行った。

廃棄物仮置場は大混乱

廃棄物混載が最大の要因

人吉市を襲った災害は約3000棟もの住家に被害を及ぼし、家屋の浸水に伴う膨大な量の廃棄物が発生した。

当初、人吉市が選定した廃棄物仮置場は、災害により発生した破棄物の許容をはるかに超えており、市では急遽、市の中心部から国道沿いに車で15分ほどに位置する「人吉中核工業用地」に災害

廃棄物仮置場を設置した。

仮置場の設置を聞きつけ、大量の災害廃棄物を積んだ車両が早朝から押し寄せ、周辺の道路は大渋滞を引き起こし、災害

復旧の初動に大きな支障が生じた。市民が持ち込む廃棄物は、家具、家電製品、畳など可燃ごみと不燃ごみ

が混載状態で持ち込まれていたため、仮置場での分別による荷下ろしに時間を要し、荷下ろしまでに8時間を要したケースになっていた。

や結局は荷下ろしできないケースも生じるなど、廃棄物の混載が渋滞を引き起こす根本的な要因となっていた。

仮置場整備・単品持込・役割分担／連携

画期的な「人吉モデル」

今回の災害による廃棄物処理の実施にあたり、①仮置場の整備②分別と単品持込込みの徹底③自衛隊や業者との役割分担や連携の三つの対策を同時に行ったことが画期的だと国からも評価された。環境省が「人吉モデル」と呼ぶようになったこの災害廃棄物処理について、視察団は、同市が廃棄物仮置場の運営を委託している「有価物回収協業組合・石坂グループ」の石坂本部長から説明を聞いた。

開設当初、現場は大雨の影響で地面がぬかるみ、荷下ろし場も狭く、廃棄物の混載による渋滞問題など、様々な混乱や課題に直面した。

発災から2日後、人吉

市災害対策本部に県や市の職員に加えて、災害廃棄物のスペシャリストとして「産業資源循環協会」が加わり、現場の連携と工夫により廃棄物の受入れ態勢を整えた。

発災4日後には、渋滞の最大の要因である廃棄物混載に比べ、単品持込

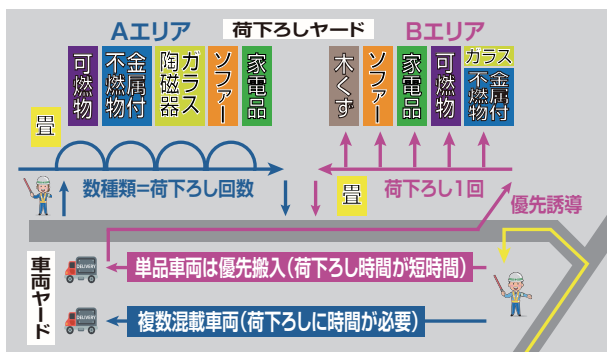
が当初の3倍、4倍へと回転率が上がっていった。

最後に石坂本部長は「災害は起きてからではなく、起きる前に取り組むことが大事。機能する体制作りに尽力し、これからは体験したことを行政に關係する人々にしっかりとバトンタッチしていくことが必要だ」と語った。



廃棄物仮置場で説明を受ける正副会長

境省が「人吉モデル」と呼ぶようになったこの災害廃棄物処理について、視察団は、同市が廃棄物仮置場の運営を委託している「有価物回収協業組合・石坂グループ」の石坂本部長から説明を聞いた。



発災3日後には、仮置場のレイアウトを処理しやすい設計につくり変え、一度に荷下ろしできる車両を増やすために「荷下ろしヤード」を拡張。自衛隊の協力を得て、ぬかるんだ地面を踏みならし、約1300枚の鉄板を敷き詰めた。併せ



人吉中核工業用地に設置された仮置場

て、渋滞緩和のための車両待機場所として「車両ヤード」を整備し、単品積載車と混載積載車を分け、単品積載車を優先的に「荷下ろしヤード」に誘導する「ファストレーン方式」を導入した。



石坂本部長（有価物回収協業組合 石坂グループ）

その結果、市民の理解が深まり、単品持込車両の増加により、仮置場の回転数と処理速度が上がり、仮置場への搬入台数が当初の3倍、4倍へと

みがスムーズな荷下ろしにつながることを呼びかけたほか、チラシを配布し、理解と協力を求めた。

高速協 高速道路建設整備促進 4車線化 防災求める

全国高速自動車道市議会協議会（会長＝高橋靖銘御殿場市議会議長）は10月21日、全国都市会館で第1回理事会を開催。



監査報告する金田監事（京丹後市）

①建設促進②高速道路ネットワークの更なる機能向上と最適利用の推進③安全対策の推進④料金制度の4項目を柱とする要望書を決定した。

冒頭、高橋会長は「未開通区間の早期着工や暫定二車線区間の4車線化、老朽化対策などの課題を踏まえ、今後とも積極的な要望活動を展開していく必要がある」とあいさつした。

講師説明では、国土交



あいさつする高橋高速協会会長（御殿場市）

講師説明では、国土交通省では、高速道路建設・整備促進等に関する要望

通省道路局高速道路課の竹村秀基高速道路事業調整官が「高速道路を取り巻く最近の情勢について」と題して、

政府の取り組みなどを解説した。

続いて、令和2年度決算について

金田琮仁監事（京丹後市議会議長）から監査結果報告があり、これを了

承。令和4年2月10日開催の第48回定期総会に提出するとした。

協議では、高速道路建設・整備促進等に関する要望

書を原案の通り決定（本会HPに掲載）。地元選出の国會議員らに要望活動を行うとした。

理事会終了後、正副会長・監事は内閣府、国土交通省に対して要望活動を実施。二之湯智内閣府特命担当大臣（防災）、吉岡幹夫技監に要望書を手交の上、面談要望を行った。



二之湯防災担当大臣（左から5人目）に要望

第11回

春日井市

部会長市紹介



市章



「日本の100選」落合公園（写真提供＝春日井商工会議所青年部）

【市の概要】

▽人口 31万0149人（令和3年10月1日）

▽面積 92.78km²

▽歴史・沿革 江戸時代に北部は犬山藩、南部は尾張藩に属していた地。

近世に入り治水事業で新田開発が進んだ。戦中の

昭和18年6月、4町村が合併して市が誕生。当時

は陸軍工廠を擁する軍需都市だったが、終戦後は

工業都市に生まれ変わった。同33年1月2町合併。

高度成長期以降、宅地開発で人口増が進み、中部

圏の中堅都市に発展した。

平成13年4月特例市移行（現在は施行時特例市）。

▽シンボル 市章は外柙にさくらの花をあしら

い「春」を表現。中央の

日の丸で、太陽のように

燃え盛り永久に発展する

「日」を、「井」で合併町

村が永遠に手を結び合う

協和を表した。市の木は

けやき、花はさくら。

【議会の概要】

▽議員定数 32人（現在・男性28人、女性4人）

▽前回選挙 平成31年4月21日。立候補37人。投票率35.03%。

▽議会トピックス 議会改革のひとつとして平成10年に議員定数を40人から36人に減らし、同20年にも再び4人削減に踏み切った。現在の定数32人は、人口が同規模のほかの自治体と比べても少ない部類に入り、市議会で

は自ら身を切るこの改革姿勢の発信に努めている。

議長の話



友松孝雄議長

本市は、名古屋市北東部に隣接する住宅都市です。日本三大ニュータウンの一つである高蔵寺ニュータウンをはじめ、良好な住環境が構築されています。県内トップクラスの都市公園数を誇り、保健師や保育士などが出産後の女性をサポートする妊産婦ケアデイサービス「さんさんルーム」の実施、全国に先駆けて全ての小中学校普通教室にエアコンを設置するなど、ソフト・ハードの両面から子育て支援施策の充実に取り組みしており、暮らしやすさに磨きをかけています。